

Ⅴ 第 5 学年 の 結 果 の 考 察

1 問題のねらいと正答率

(1) 領域の設定

算数科の学習指導要領に示されている領域は数と計算、量と測定、図形、数量関係の四領域であるので、この学年の問題構成の領域として

(2) 問題のねらいと正答率

〔1〕(45分)

は同じように四領域を考えたが、特に、数と計算の領域は、その内容を意味の理解、計算技能の二面で分析し、数と計算の領域の基礎的能力を診断できるようにした。

領域	問題のねらい	問題番号		正 答 率		
				小 問	大 問	領 域
数 と 計 算 の 意 味 (20 分)	① 観点をきめて整数を類別する。	1	(2)	61.62	53.79	38.84
			(3)	45.95		
	② 倍数・約数を集合としてみる。	2		9.14	9.14	
	③ 商を分数で表わす。	3		62.09	62.09	
	④ 概数の積、商の処理のしかたの理解	4	(1)	1.14	3.59	
			(2)	6.03		
	⑤ 整数、小数、分数の相互関係の理解	5	(1)	46.57	47.41	
			(2)	48.25		
	⑥ 同じ大きさの分数の集合づくりの理解	6		23.06	23.06	
	⑦ 分数の大小、相等を比べることの理解	7		62.89	62.89	
	⑧ AのBに対する割合がPであるとき、Pを求める。	8		53.31	53.31	
	⑨ AのBに対する割合がPであるとき、Aを求める。	9		45.41	45.41	
⑩ AのBに対する割合がPであるとき、Bを求める。	10		29.27	29.27		
⑪ 小数の四則計算を適用した問題を解く。	11		62.17	62.17		
⑫ 分数の四則計算を適用した問題を解く。	12		25.81	25.81		